

No2459 岩屋峰・大天井ヶ岳

2015年4月18日(土) 晴

参加者： 榊谷(L) 上ノ原 嶋原 右田 片山琴美(記)

7時00分新大阪出発。R309号を走り10時前洞川温泉駐車場着。

10時過ぎ出発、山上川右岸の寺前通りを行く。面不動鍾乳洞へ登るモノレールを羨ましく見上げながらセメントの急坂をジグザグに登る。小泉川にかかる吊橋を渡り自然歩道を行くと道が下りになった所に展望台への標識があるが通行禁止となって黄色のロープが張ってある、そのロープの横から展望台コースに入る、落葉と鹿の糞混じりの獣道だ。石ころもごろごろ、急斜面を登り大原山展望台で一息入れる。眼下には山上川



(大原山への吊り橋)



(大原山)

沿いに温泉街の赤い屋根が並んで居る。展望台を出ると右の谷側斜面は新緑の見事なモミジの林が続く。暫く行くと休息所か、トイレか？ 四角い建物の前から左の尾根に入り植林の中を登る。登るに従って傾斜が急になりコースが解らなくなる。唯、ひたすらに登る、前方に明るい空が見えてやっと登ったかと思ったら未だ少し先だった。稜線を北に少し行った所が1,334m岩屋峰、昼食休憩。



(岩屋峰)

目指す大天井ヶ岳は北の空に頭を見せている。対面には山上ヶ岳、稲村ヶ岳、大日と並び其々の谷筋に少し残雪がある様だ。山上と稲村の間、遙か彼方に頭を見せているのは行者還りかな？

岩屋峰を後にして、今度は急な下りだ。折角登ったのに何処まで下るのか…と思ったら「そんなに下らんよ」リーダーさんの声にホットする。鞍部から登り直した、最後の急登、相変わらず植林の中の判然としないコースを先に行く人の姿を追いながらストックを頼りに登る。今日はストックを持ってきてほんまによかった!!



(岩屋峰からの山上ヶ岳)



(大天井ヶ岳)

1,438.7m 大天井ヶ岳の3等3角点にストックを置く。大天井ヶ岳頂上は少し刈り込みされている。展望はないが大峰らしい山、北尾根の急な斜面に白い旗が何本も風にはためいて居る、戸開けに向けての準備だろうか。南東の岩尾根を下ると吉野からの奥駆け道と合流する。良く手入れされた植林の美しい道を下って五番関へ、女人結界の赤い大きな鳥居が目飛び込んでくる。赤鬼が腰に手を当てて仁王立ちして「通さんぞ!!」と睨んで居る様に思えた。山上の方から大きなザックを背負った外国人が一人で降りて来て本谷の方へ下って行った。私達は反対の五番関トンネル口へと下る。

トンネル口広場の桜は未だ蕾だった。此处から林道歩きだ、前の川を覗いて「まさか此处を降りると違うやろなあ」と笑って居たら、何の事ないリーダさんはガードレールの切れ目からさっさと川へ降りて行った、「やっぱり!…」 手漕ぎ、足漕ぎよろしく後に続く。久しぶりの藪漕ぎだ。

古い指導票の立って居る所で林道に出る。毛又谷林道から山上川沿いの遊歩道に入り何度か渡り返しながらかじかの滝や岩屋を見て村の中の道を通り、民家の庭先の花々を楽しみながら駐車場に戻りました。

行く前に何度も地図を見てシンドそうやなあー、きついなあーと覚悟はしていたがやはり厳しいコースでした。でも大天井の頂上に立った時、やっぱり来て良かったと思いました。以前から如何になっているのかな?と思っていた事も解ってよかったと思って居ます。

往復の運転ご苦労様でした。メンバーの皆様本当に有難う御座いました。

*コースタイム (鳴原さんに拝借致しました)

温泉駐車場 9:42→10:48 大原山展望台→11:47 岩屋峰 12:20→13:15 大天井ヶ岳 13:30→14:02 五番関→14:17 五番関トンネル口



(河鹿の滝)